



生協ひろしま

CSR Report 2018

2017年度の事業・社会・環境についての報告

《《 生協とは

生協はくらしを豊かにしたいという組合員の願いを実現するためにみんなが話しあい、力を合わせて商品を開発し、商品・サービスを通じたくらしの見直しに取り組む消費者団体の協同組織です。一人ひとりには弱い立場の私たちもみんな力で合わせれば大きな力を生み出すことができます。みんなの協力で作られている生協は、組合員自身が出資し商品を利用し、自分(組合員)たちの手ですすめていく組織です。

《《 基本理念

私たちは、協同の力で、より豊かなくらしの創造と平和な社会づくりに貢献します。

編集方針

生協ひろしまは2006年に「企業の社会的責任」を意味するCSR経営を進めることを宣言しました。事業と組合員活動から成り立つ生協ひろしまのCSRに関する取り組みをステークホルダーの皆さまに報告いたします。この報告書は生協ひろしまの基本理念に則して推進している事業や活動、その進捗状況を報告することを基本とします。

「CSR Report 2018」の発行にあたって

持続可能な地域社会を目指して

生協ひろしま 専務理事 横山 弘成



2017年7月、被爆者が訴え続けた願いである核兵器禁止条約が122カ国の賛成で採択されました。しかし、唯一の被爆国である日本は条約採択に反対し、核兵器禁止条約をめぐる各国の溝は深まっています。一方で、ノーベル平和賞にICAN(核兵器廃絶国際キャンペーン)が選ばれるなど核兵器廃絶にむけた草の根の運動が世界で広がっています。生協ひろしまでは核兵器禁止条約締結をめざす「ヒバクシャ国際署名」に取り組み、110,699筆もの署名が集まりました。被爆地ヒロシマにある生協として被爆の実相を次世代に継承し、核兵器禁止条約締結と平和な世界の実現に向けてヒロシマの願いを発信し続けていきます。

7月に発生した九州北部大雨災害では緊急支援募金に取組みました。組合員から1,300万円を超える募金も寄せられ、被災地にお届けしました。同時に東日本大震災、熊本地震の被災地への「広島お好み焼き隊」の派遣も継続して実施しています。今後も被災地の事を忘れない顔の見える支援活動を継続していきます。

近年、これまでにない異常気象や自然災害が発生しています。災害時の対応において、県内全域をカバーする生協ひろしまのネットワークとインフラは行政や自治体からも大きな期待を寄せられています。これまで県内12の自治体と「災害時における生活物資の共有に関する協定」を締結しました。今後も県民のくらしに貢献できる連携を進めていきたいと考えています。

生協ひろしまは県内40万世帯の方が加入する組織に成長しました。今後も組合員、地域社会の願いを事業と活動を通じて実現させ、持続可能な地域社会づくりに貢献してまいります。

本レポートは1年間の諸活動をまとめて紹介しています。多くの方にご高覧いただき、率直なご意見、ご助言をいただければ幸いです。

2018年9月

発行 行：2018年9月
者：生活協同組合ひろしま
〒739-0495
広島県廿日市市大野原1-2-10

問い合わせ先：総合企画室
TEL 0829-50-0409
FAX 0829-50-0352
URL <http://www.hiroshima.coop>
E-mail hcoop@mail.hiroshima.coop

ホームページ



フェイスブック



本レポートは生協ひろしまホームページでも公開しています。—— http://www.hiroshima.coop/about/csr_report/index.html

食

食の安全・安心についての最新情報を発信し組合員ともに学び広げていく活動をおこないました。

「商品学びあい活動」に取組みました。

組合員といっしょに商品について学び、良さを伝える活動をすすめました。県内7カ所で「商品学びあい活動交流会」を開催しました。



産直商品の普及と生産者との交流

産直3原則に基づき、県内産直商品の産地見学や交流会を開催しました。

産直3原則

1. 生産者・産地が明確であること
2. 栽培方法・肥育方法が明確であること
3. 組合員と生産者が交流できること



リスクコミュニケーション

食に関する組合員の声や関心事についての最新情報「食の安全ガイド」を広報誌で掲載し、組合員とのリスクコミュニケーションに取組みました。

平和

戦争も核兵器もない平和な世界をめざし、戦争の悲惨さ、核兵器の非人道性を過去の歴史から学び、次の世代に継承していく取組みを行っています。

ヒバクシャ国際署名

「核兵器禁止条約締結」の実現を目指して組合員と職員が署名活動をおこなしました。目標10万筆に対し、110,699筆の署名が集まりました。



「継承」をテーマに「ピースナイター2017」を開催

8月2日、(株)広島東洋カープ、(株)中国新聞社、(株)中国放送、広島電鉄(株)と共催で10回目となるピースナイターを開催しました。

平和の折り鶴昇華再生事業

広島平和記念公園に捧げられた折り鶴をカレンダーやノートなどに再生し全国の生協、取引先様に紹介する「平和の折り鶴昇華再生事業」に取組んでいます。折り鶴再生の解体作業体験に延べ599名の組合員が参加しました。



市民平和行進を行いました

県内3コースに延べ600人が参加して核兵器の廃絶と平和の大切さをアピールしました。



子育て支援

子育てに関する情報発信や学習や交流の場をつくると共に行政、関係団体とも協力し安心して子育てができる地域づくりに取り組んでいます。

はじめてばこ

広島県・テレビ新広島と連携し、広島に生まれた赤ちゃんを応援する「はじめてばこ」を県内出生数の半数以上となる11,917世帯にお届けしました。

ちびっこひろば

親と子のオープンスペース「ちびっこひろば」を7店舗で89回開催し、延べ900名が参加しました。



赤ちゃんサポートステーションを設置

行政と連携し、フラワーフェスティバルとバラ祭に授乳室やオムツ交換室を備えた「赤ちゃんサポートステーション」を設置。赤ちゃん連れの来場者のサポートを行いました。



こどもの救急時の対応学習会

日本赤十字社と協力し「こどもの救急時の対応学習会」を開催。283名が救命救急措置に必要な基本知識と技術を学びました。

福祉

共に生き支え合う互助関係を築き、「だれもが安心して住み続けられる地域づくり」に向け取り組んでいます。

看護と介護が併設した事業所設立を準備

利用者の在宅生活の維持向上をめざし、広島中央保健生協と連携し、看護と介護の併設事業所の準備をすすめています。

くらしの助けあい

組合員同士が「お互いさま」の気持ちで助けあう活動です。2017年度の援助希望者は1,180名、活動者は1,077名、活動時間は延べ7,029時間でした。



安東ふれあい食事会

お一人暮らしのお年寄りを対象に月1回、コープ安東で料理作りと交流を行っています。地域のひとりぼっちをなくす取組みは21年目を迎えました。



寄ってこ〜家

地域に住む誰もが立ち回れる居場所づくり「寄ってこ〜家」に取り組んでいます。2017年度は延べ196回のイベントを開催しました。



地域・社会貢献

地域の防災や防犯活動、災害時の支援活動ボランティア活動に積極的に参加し地域社会に貢献していきます。

県内12市町と災害協定を締結しました。

新たに海田町、坂町、熊野町、廿日市市と災害時における支援協定を締結しました。




3生協連携協定

地域の人が安心して住み続けられる“まちづくり”への貢献を目的に生協ひろしま・広島医療生協・広島中央保健生協の3生協で「地域連携と事業・活動の推進に関する協定」を締結しました。

被災地支援

東日本大震災、熊本地震の被災地に広島お好み焼き隊を派遣。広島の味「お好み焼き」を被災地で振る舞いました。



項目	回収形態	回収実績量 (t)					再生品
		2013年度	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	
飲用パック 	支所・店舗	94.8	99.7	77.3	74.9	81.2	コアノンロール 
たまごパック 	支所・店舗	46.5	47.8	49.1	49.1	46.2	たまごパック 
発泡トレイ 	支所・店舗	20.4	20.8	21.3	18.9	17.8	トレイ 
透明トレイ 	店舗	4.9	5.2	5.0	5.2	5.7	トレイ 
シッパー内袋 	支所	58.4	54.5	47.6	43.5	44.7	再生フィルム、文房具 
チラシ類 	支所	4,386	4,681	4,684	4,737	4,745	チラシ 
ペットボトル 	店舗	26.7	24.5	28.3	20.7	20.9	プラスチック原料 
合計		4,637.7	4,933.5	4,912.6	4,949.3	4,961.5	

リサイクル推移

商品の配達時や店頭で飲用パックやたまごパック等の回収を行い、資源の有効利用に取り組んでいます。

エコセンターの収益金を組合員に還元

事業所からでるチラシや牛乳パックをコープCSネットエコセンターで加工し、資源リサイクル業者に売却を行っています。その収益金の一部は組合員に還元しています。



マイバック持参率は88.3%

広島県との協定に基づき、2009年10月より全店舗でレジ袋の無料配布を中止しています。2017年度の持参率は88.3%でした。



事業活動による環境負荷の軽減

事業活動によるエネルギー資源の投入

電気使用量を4%削減しました。

項目	使用量	単位	前年対比
電気	17,597	千kWh	96.0%
都市ガス	39,808	m ³	185.3%
LPガス	32,608	m ³	109.7%
水道	72,108	m ³	100.9%
灯油	432	ℓ	52.7%
車両(軽油)	664,112	ℓ	99.3%
車両(LPG)	30,816	ℓ	122.0%
車両(ガソリン)	256,929	ℓ	123.0%
注文書等商品案内	6,185	t	99.0%
シッパー内袋	178	t	111.2%
レジ袋	3.9	t	102.6%
トレイ	9.8	t	86.7%
ラップ(インスタアー)	9.3	t	106.9%
ドライアイス	1,396	t	87.4%

空調の適正温度の設定、不必要な照明の消灯等の運用管理と機器の更新により電力使用量の削減に取り組んでいます。



環境

生協ひろしまでは環境保全を効果的に推進していくため、環境負荷や保全にかかる費用と効果の把握を行っています。



環境保全コスト

(単位: 千円)

主な取組み内容	15年度	16年度	17年度	前年対比
浄化槽の点検、グリストラップ清掃	3,635	3,446	3,163	91.8%
紙類等のリサイクル	625	269	228	84.8%
生ごみ、廃食油、魚残渣のリサイクル	5,453	5,183	4,763	91.9%
一般・産業廃棄物の処理・処分、ごみ袋	33,793	32,461	32,562	100.3%
害虫駆除	3,381	2,940	2,716	92.4%
再商品化委託料	2,263	2,887	3,256	112.8%
合計	49,150	47,186	46,688	98.9%

経済効果

(単位: 千円)

効果内容	15年度	16年度	17年度	前年対比
紙類、発泡スチロール等のリサイクル	76,684	78,695	79,234	100.7%
レジ袋使用削減分	10,383	9,532	9,173	96.2%
再商品化委託料削減分	7,140	6,674	5,372	80.5%
合計	94,207	94,901	93,779	98.8%

組織概要

(2018年3月31日現在)

名称	生活協同組合ひろしま
創立	1984年10月(昭和59年)
本部	広島市西区草津港2-8-42
役員	理事長 恵木 尚 専務理事 横山 弘成 常務理事 宗本 干城 常勤理事 重津 光彦 高浦 美穂 高橋 房大
活動エリア	広島県全域(定款)
組合員数	400,752名
県内加入率	32.6%

出資金額	131.0億円
供給高	417億8,126万円
福祉事業収入	13億3,278万円
その他事業収入	14億7,750万円
職員数	総合職員 596人 専任職員 274人 パートナー職員 606人 福祉専門職員 190人 ヘルパー登録者 424人

数字で見る2017年度実現できたこと

※数字は2018年3月末現在

供給高 417.8億円

(計画比97.3% 前年比99.1%)

共同購入他 334.5億円

(計画比97.4% 前年比99.2%)

店舗 83.25億円

(計画比96.7% 前年比98.8%)

移動店舗(ぶちコープ) 4台稼働中
 廿日市市・佐伯区・西区・
 安佐南区・安佐北区・東区・安芸区・
 安芸高田市・呉市・大竹市

供給高 0.92億円

(計画比102.2% 前年比107.4%)

福祉事業 13.3億円

(計画比95.7% 前年比105.6%)

eふれんず(インターネット注文)

供給高 31.1億円

(供給高に占める割合9.3%)

会員数 49,633名

夕食宅配(思いやりコープ弁当使)

平均食数 3,380食/日

供給高 5.31億円

(計画比105.4% 前年比110.6%)

組合員数 400,752名

(計画比100.1% 前年比100.2%)

出資金 131.0億円

(計画比102.2% 前年比100.9%)

みんなで参加しました。

【産地・工場見学】

●23グループ
 25産地・工場へ 494名参加

【保障の見直し活動】

●32カ所 602名参加

【くらしの保障アドバイザー認定者】

●初級 1,331名
 (職員:802名 組合員:529名)
 ●中級 614名
 (職員:399名 組合員:215名)

【コープくらぶ】

●25グループ 145名

【商品モニター】 ●370名

【商品テスター】 ●15名

「声」を届けました。

【私もひとこと】

●3,140件 ※注文書での受付

【コープぱれっとへのお便り】

●1,510件

【あなたの声いかります】

●446件 ※店舗で受付

【ホームページ】

●アクセス件数/413,988件
 ●メール/463件

「お互いさま」の輪

【くらしの助けあい】(2017年4月~2018年3月)

●活動協力金/1,526,236円

●援助希望者/延べ1,180名

●総活動時間/7,029時間

●活動者/延べ1,077名

協同の心を届けました。

【募金等】

●平和募金 2,294,571円
 ●障がい者支援募金 2,001,200円
 ●ユニセフ募金 1,425,455円
 ●ミャンマー指定募金 2,000,000円
 ●九州北部大雨災害募金 13,622,977円
 ●もずく基金 613,240円

●コアノンスマイルスクールプロジェクト 172,433円
 ●災害復興支援・応援積立 1,518,887円
 ●うなぎ協力金 223,122円
 ●コープの洗剤を利用してプチ貢献キャンペーン 124,811円

【署名】

ヒバクシャ国際署名 110,699筆

小規模作業所国会請願署名 13,660筆

新聞で紹介された(2017年度新聞記事) 生協ひろしまの取り組み

4月18日	生協ひろしま お好み焼き激励行脚	朝日新聞(岩手県)
4月19日	生協職員ら お好み焼きを提供	岩手日報(岩手県)
5月29日	邑南ハーブ米を消費者が体験	中国新聞
6月1日	ピースナイターが10周年	中国新聞
6月15日	理事長就任について	中国新聞
6月19日	熊本の仮設訪ねお好み焼き支援	朝日新聞
7月9日	呉平和委員会[平和のつどい]	中国新聞
7月30日	三次平和行進	中国新聞
8月2日	配送「同一賃金」目指す	中国新聞
8月3日	ピースナイター	中国新聞、朝日新聞、産経新聞、読売新聞、日経新聞、毎日新聞
8月29日	広島市「ひろしま保育・介護人材サポート企業」認定	中国新聞
9月13日	正規・非正規の格差見直し「同一賃金」	中国新聞
10月3日	広島お好み焼き隊研修 TSSみんなのテレビ	
10月10日	お好み焼き隊	岩手日報(岩手県)
10月18日	広島3生協が連携協定	中国新聞
11月15日	コープ高陽リニューアルオープン	中国新聞

2017-2018 News topics



MANABIカレッジを開校

ボランティア活動や地域貢献などプラチナ世代が第2の人生に一步踏み出すための大人の大学「MANABIカレッジ」を11月に開校。

電子マネー「CoPuCa」を導入
 生協ひろしまオリジナルの電子マネー機能付き組合員証「CoPuCa」を導入しました。



コープ高陽をリニューアルオープン

11月9日(木)、誰もが楽しくお買い物ができる店内レイアウトに改修し、生鮮食品をより充実させたコープ高陽がリニューアルオープン。